

2023年(令和5年)1月17日(火曜日)

電波新聞

オーエスエレクトロニクス

東海林 尊信 社長

オーエスエレクトロニクスは1963年4月の創立以来、2023年4月に60周年を迎える。米オンセミの正規代理店として事業を拡大し、日本国内をはじめ中国、台湾、米国など海外サプライヤーの半導体製品を幅広く扱う。

東海林尊信社長は

パワー系新商材を中台で発掘へ

調に伸ばし、eバイクや今後は車載にも期待する。

「これまでに経験したことのない半導体不足が21年から継続しているが、当社の業績は円安効果もあり、創業以来の最高業績で推移している。23年は60年の節目になる。市場環境の変化も激しく、過去の経験にとらわれない

台湾、シンガポール

「これまでに経験したことのない半導体不足が21年から継続しているが、当社の業績は円安効果もあり、創業以来の最高業績で推移している。23年は60年の節目になる。市場環境の変化も激しく、過去の経験にとらわれない

判断が求められる。事業は半導体の需給しただけだが、為替変動や製造業の設備投資を注視しながら慎重に取り組み」と述べる。

台湾もローカル企業を顧客に、オンセミ製品や中国製マイコンなどを提供し、売り上げを伸ばしている。

以前から取引のある台湾の半導体メーカー

が足りない。直近ではメモリやマイコンは

・ヌヴォトンテクノ

が足りない。直近ではメモリやマイコンは

ロジックが、20年にパナ

余剰感が出ている。依管ビジネスが中心にな

ソニックから半導体事業

然として不足が続くパ

業を譲受したことで、

ワー系の新規商材を中

旧パナソニックのマイ

国や台湾系を中心に発

掘りたい」と言う。

海外事業を強化している。インドは約10年前から事業を始め、現在はデリーに本拠となるオフィスを構え、ベンガルールとプネにサテライトオフィスを設けている。ローカル企業向けビジネスで調に伸ばし、eバイクや今後は車載にも期待する。



東海林 尊信 社長